

2019年度全日本学生ヨット個人選手権北海道予選

共同主催 北海道学生ヨット連盟 北海道セーリング連盟 小樽セーリング協会
 会場 小樽市祝津ヨットハーバー沖
 大会期日 2019年7月20日(土)～2019年7月21日(日)

レース公示(NoR)

[SP] レース委員会から審問なしに、またはプロテスト委員会の審問によりスタンダード・ペナルティーが課せられる

[NP] 艇からの抗議の根拠とはならない。これは規則 60.1(a)を変更している。

1. 適用規則

- 1.1 本大会は、『セーリング競技規則 2017-2020』（以下『規則』と表記）に定義された規則を適用する。
- 1.2 最新の「全日本学生ヨット連盟規約」「470級学連申し合わせ事項」「スナイプ級学連申し合わせ事項」

および「艇体への大学名表示に関する申し合わせ事項」を適用する。これらは全日本学生ヨット連盟にて入手することができる。

- 1.3 規則 42 違反に対し付則 P を適用する。
- 1.4 国際スナイプ級について、SCIRA 規則の『国内および国際選手権大会運営の運営規定』は同規定 9.1 に定められたレースを行う最大風速に関する規定を除き、適用しない。

2. 競技種目

国際 470 級、国際スナイプ級

3. 参加資格および申し込み

3.1 参加資格

- (1) 2019 年度日本セーリング連盟の会員であること。
- (2) 選手は全日本学生ヨット連盟規約第 6 条を満たしていること。
- (3) 国際 470 級の選手は、日本 470 級協会の 2019 年度団体会員登録を完了している大学ヨット部に所属していること
- (4) 国際スナイプ級の競技者は、2019 年度 SCIRA 会員であること。

3.2 レース乗艇員

各クラス 1 チームにつきヘルムスマン 1 名、クルー 2 名以内とする。

3.3 参加申込み

- (1) 以下の参加申込書の全てに記入の上、2019 年 7 月 12 日(金)までに下記あてに電子メールで必着すること。
 - (a) 参加申込書-1 (参加艇情報)
 - (b) 参加申込書-2 (支援艇許可申請書)
 - (c) 支援艇の船検証のコピー
 - (d) 参加申込書に記載した競技者全員および監督の『2019年度(公財)日本セーリング連盟会員証』もしくは『JSAF会員web画面』写し
 - (e) スナイプクラスの競技者は、『SCIRA へのメンバー登録番号』を参加申込書-1 に記載のこと
- (2) 期日を過ぎてからの参加申込み(書類の不備を含む)および競技者の追加・変更は認められない。

3.4 参加申込先

【送付先】 氏名：亀井千尋 kmichr0407@gmail.com

4. 参加費用

4.1 エントリー費 7000 円/艇

4.2 エントリー費の振込

エントリー費は以下の口座に、期限内に振り込むこと。

振込先：北海道学生ヨット連盟 銀行：北洋銀行 小樽駅前支店 口座番号：345 3306717

振込期限 2019 年 7 月 12 日(金)

5. 艇

5.1 艇は原則として参加チームの所有艇とするが、主催団体が認めた場合は参加チームが手配したチャーター艇も認める。

5.2 国際スナイプ級の艇は、2019 年度 SCIRA 登録を完了していること。

5.3 [DP] 艇体には、『艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項』に定められた表示をしなければならない。

6. セール

6.1 セールは各チームが持参し、1セットの予備セールを含めた2セットまでとする。

6.2 国際470級のセールは基本計測を完了していなければならない。

6.3 スナイプクラスのセールは、2019年の年度計測を完了していなければならない。

6.4 艇は、他艇と同一のセール番号を同時に使用してはならない。

6.5 艇は、オリジナルのセール番号に数字・形象等を付加した、各クラス協会に登録されていないセール番号を使用してはならない。

6.6 国際470級のメインセールとスピナーカーのセール番号は同一でなければならない。

6.7 予備セールの使用は、セールの紛失又は補修ができないほどの損傷があった場合のみとし、レース委員会の許可を得なければならない。新たに使用するセールは大会計測を完了していなければならない。

7. レース日程

6月22日(土) 国際470級 計測

6月23日(日) 国際スナイプ級 計測

7月20日(土) 08:00-08:30 受付
08:40-08:50 開会式
08:50-09:00 ブリーフィング
10:00 国際470級 第1レース予告信号掲揚予定時刻
国際スナイプ級のレースは国際470級に引き続き行われる。
以降のレースは引き続き行う。(以下同様。)

7月21日(日) 08:20-08:30 ブリーフィング
09:30 国際470級 第1レース予告信号掲揚予定時刻
国際スナイプ級のレースは国際470級に引き続き行われる。
以降のレースは引き続き行う。(以下同様。)

7.1 本大会のレース数は各クラス最大8レースとする。

7.2 7月20日は15:01以降、7月21日は13:31以降に予告信号は発せられない。

8 帆走指示書の配布

7月13日までに、北海道学生ヨット連盟のホームページ上に公開する。

また、大会当日に帆走指示書の配布は行わない。

9 受付

参加チームは、次の書類等を提出し受付を完了させなければならない。

- (a) 470 クラスは計測登録証明書
- (b) スナイプクラス計測証明書。
- (c) 「参加申込書-2」(「支援艇許可申請書」)の写し

10 得点方式

- 10.1 シリーズの成立には 1 レースを完了することが必要である。
- 10.2 5 レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズ得点はレース得点の合計とする。
- 10.3 5 レース以上完了した場合、艇のシリーズ得点は最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

11 無線通信 [DP] [NP]

緊急の場合を除き、レース中の艇は無線の送受信をしてはならない。この制限は携帯電話にも適用される。

12 賞

各クラスとも、第 1 位から第 3 位の選手に賞状を贈呈する。

13 [DP] 支援艇

13.1 支援艇

支援艇とは、規則の定義にある支援者が乗艇するエンジン付きボート及びクルーザーで、水上においてレース中ではない自校に所属するレース艇に対し、以下の支援ができる。

- (a) レース艇(選手)へのアドバイス、応援。
 - (b) レース艇の交換装備の積み込み、装備交換の援助、破損した装備の引き取り。
 - (c) 選手の交代。
 - (d) 飲料水、食事の選手への供与、ゴミの引き取り。
- 13.2 支援艇の登録は「参加申込書-2(支援艇許可申請書)」を参加申込時に郵送することにより完了する。登録に基づき、受付時に「支援艇許可証」が発行され、レース委員会から緑色旗が貸与される。支援艇は水上において常に緑色旗を目立つように掲揚しなければならない。
- 13.3 支援艇は、「支援艇許可証」及び帆走指示書に記載される指示事項を守らなければならない。
- 13.4 レース委員会の指示に従わなかった支援艇は、以後出艇が許可されないほか、当該支援艇に関わるチームの全レース艇に対してプロテスト委員会の裁量によるペナルティーが課せられることがある。

14 責任の否認

このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。規則 4『レースをすることの決定』参照。

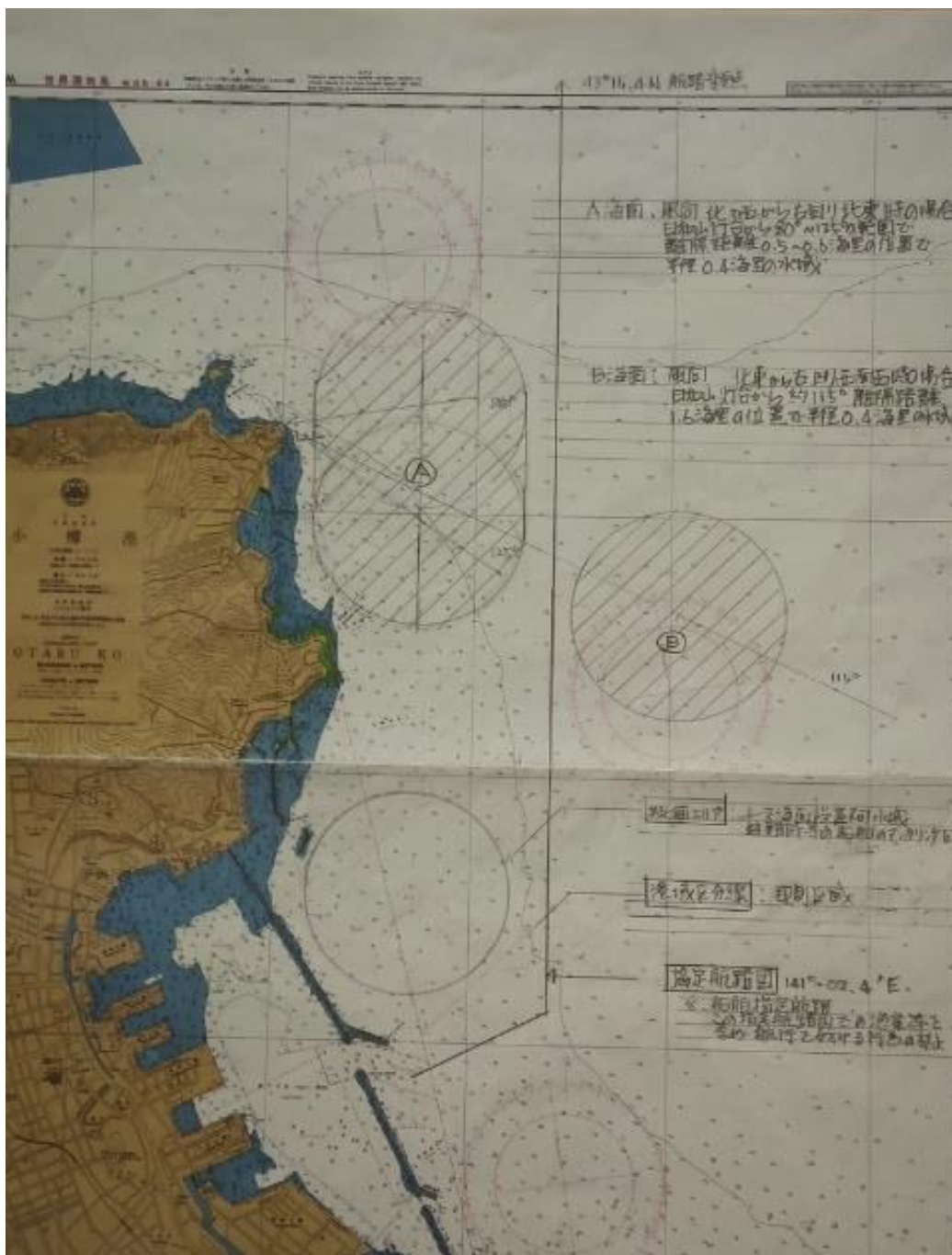
主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物的損害又は人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

15 問い合わせ先

当レガッタに関する問い合わせは、次の通りである。

北海道学生ヨット連盟委員長 亀井千尋 携帯 080-1382-9437
メールアドレス kmichr0407@gmail.com

「添付図 1」 レース海面 小樽市 祝津沖



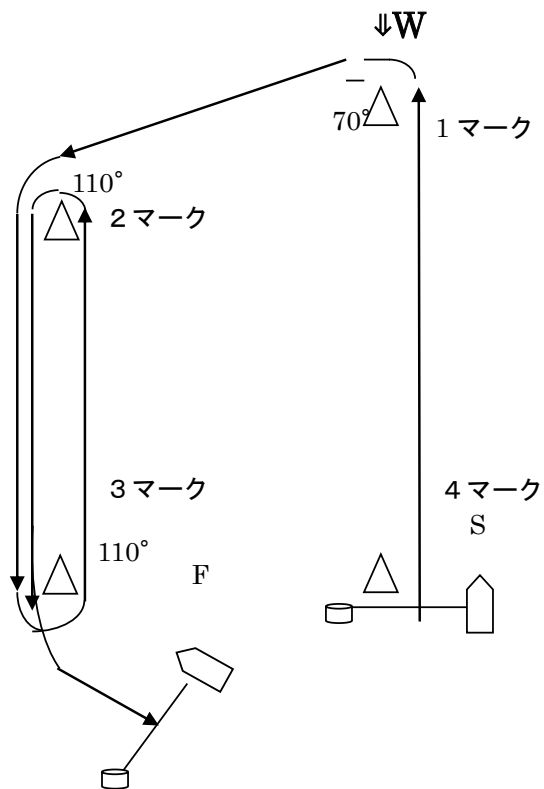
主要座標 緯度1度=緯度60分=60海里
緯度1分=1海里(NM)=1.852KM

祝津沖水域	: 緯度 43° -13.0 N~43° -14.9 N	東経 141° -01.2 E~141° -03.7 E
海面 A	: 緯度 43° -13.6 N~43° -14.8 N	東経 141° -01.2 E~141° -02.3 E
同中心	: 緯度 43° -14.0 N~43° -14.4 N	東経 141° -01.7 E
海面 B	: 緯度 43° -13.2 N~43° -14.0 N	東経 141° -02.5 E~141° -03.7 E
同中心	: 緯度 43° -13.6 N	東経 141° -03.0 E
* 協定航路		東経 141° -02.4 E
ハーバー入口:	緯度 43° -14.1 N	東経 141° -00.9 E

「添付図 2」 コース

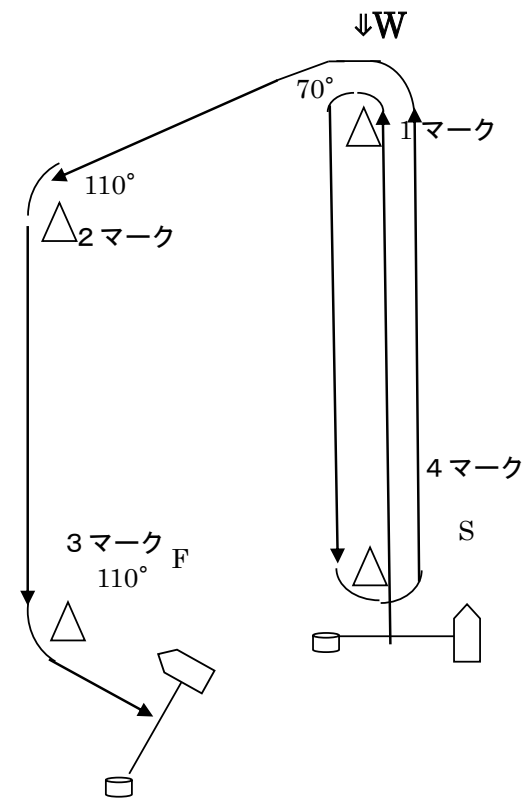
見取り図はレグ間の通過するマークの順序及びそれぞれのマークを通過する側を含むコースを示す

コース 1 : O2



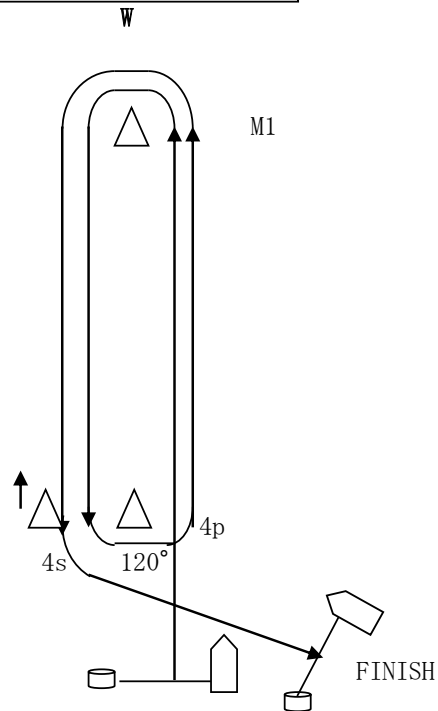
S-1-2-3-2-3-F

コース 2 : I2



S-1-4-1-2-3-F

コース 3 : LR2



STRAT
S-1-4s/4p-1-4p-F